

歴史文化を活かしたまちづくりに関する提言書

宮津市には、天橋立をはじめとする自然景観とともに、地域の誇りである多くの歴史的文化財が存在する。これらは地域の遺産にとどまらず、まちやそこに住む人のアイデンティティの礎となるものである。

一方で近年、担い手不足や過疎化の進行により、文化財の継承が難しくなっており、次世代への継承と活用の仕組みを地域ぐるみで築くことが求められている。

こうした中で、歴史文化を活かしたまちづくりをより一層進めるためには、宮津市文化財保存活用地域計画に掲げる各取り組みを着実に実行していくことが重要であり、以下の2点を提言する。

なお、本提言に対する取り組みについては、適宜、議会に報告を行うよう求める。

1. 文化財の保護・継承の観点から、市独自に「文化財保護推進員（仮称）」を置き、情報収集をはじめ巡視や状況報告などの活動を行うことや、文化財所有者等に対する「文化財保護謝礼」や「清掃謝礼」などの新たな制度を検討し、民間所有の文化財の適切な管理を推進すること。
2. より多くの人々が宮津市の歴史的資料や文化財を知り、それらに親しむために、文化財について総合的に紹介する Web サイトや検索システム（デジタルアーカイブ）の構築・公開を行い、本市の歴史や文化の情報発信、イメージアップなどに努めること。

令和7年6月25日

宮津市長 城 崎 雅 文 様

宮津市議会議長 松 浦 登美義